

2021/8/23

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(8月17日～8月20日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,166.0	1,181.1	1,166.0	1,179.6	+10.6
JPY/KRW	10.6679	10.7850	10.6503	10.7530	+0.162
KOSPI	3,169.74	3,179.49	3,049.03	3,060.51	▲110.78

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。三連休明けの8月17日には1,166.0ウォンでオープンすると、この日も外国人投資家による韓国株式売りが大きく入り、ドル/ウォンは1,179.0まで上昇。18日には企画財政部高官がドル/ウォン相場を注視していると発言したことを受けてドル/ウォンは1,167.8ウォンまで反落した。その後同日海外時間に発表されたFOMC議事録では、大半の参加者が経済が予想通りに改善すれば年内のテーパリング開始が望ましいとする一方、雇用については著しく前進する余地があると記載されており、市場では年内のテーパリング開始が改めて意識される格好となった。すると19日以降には外国人投資家による韓国株式売りが再び活発化し、ドル/ウォンも1,181.1まで上値を更新。当局からの介入と思われる動きもあったものの、ほとんど反落することなく上昇した。結局、先週末対比10.6ウォン上昇の1,179.6ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや反落する展開を予想する。先週発表されたFOMC議事録では、年内のテーパリング開始が意識される内容だったものの、直近では複数のFED高官がデルタ変異株の感染拡大に対する景気悪化への懸念を示しており、テーパリング開始の時期についても再考の余地があるとしている。韓国株式については、半導体業界の業況悪化懸念という固有の材料もあるため、他国の株式対比上昇にくいことが予想されるものの、それでも先週のような外国人投資家による株売りからくるドル/ウォンの上昇は限定的だろう。むしろ、週後半にかけては実需のウォン買いが期待できることから、ドル/ウォンはスピード調整もかねて反落する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1160 ~ 1185	10.55 ~ 10.85	108.8 ~ 110.8

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(月) 米 8月 製造業PMI 速報値
- 欧 8月 製造業PMI 速報値
- 欧 8月 サービス業PMI 速報値
- 米 8月 サービス業PMI 速報値
- 欧 8月 消費者信頼感指数 一次速報
- 米 7月 中古住宅販売件数
- 24日(火) 米 7月 新築住宅販売件数
- 25日(水) 米 7月 耐久財受注 速報値
- 26日(木) 米 2Q GDP 二次速報
- 韓 BOK 政策金利発表
- 27日(金) 米 8月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 米 7月 個人所得
- 米 7月 個人消費
- 日 8月 東京都区内CPI